



広島サミット県民会議第5回総会 次第

日時 令和5年7月5日（水）10時00分～

場所 グランドプリンスホテル広島2階 瀬戸内

1 開会

会長及び両副会長挨拶

2 議題

- (1) 広島サミット県民会議令和4年度収支決算書（案）について（審議）
- (2) G7広島サミットの開催概要等について（報告）
- (3) 交通総量抑制対策の結果について（報告）
- (4) G7広島サミットにおける海上警備実施状況について（報告）
- (5) 広島サミット県民会議の今後の取組等について（報告）

3 閉会

【配付資料】

第1号議案：広島サミット県民会議令和4年度収支決算書（案）

資料1：G7広島サミットの開催概要等

資料2：交通総量抑制対策の結果

資料3：G7広島サミットにおける海上警備実施状況

資料4：県民会議の今後の取組等

参考資料：県民会議事務局が実施する各事業の概要等について

第1号議案

広島サミット県民会議 令和4年度収支決算書（案）

1 収入の部

（単位：円）

科 目	令和4年度予算額(1)	令和4年度決算額(2)	差引 (1)-(2)
負担金	506,200,000	506,200,000	0
諸収入	0	40,383	▲40,383
合計	506,200,000	506,240,383	▲40,383

2 支出の部

（単位：円）

科 目	令和4年度予算額(1)	令和4年度決算額(2)	差引 (1)-(2)
事業費	433,800,000	135,907,292	297,892,708
事務局費	72,400,000	45,921,013	26,478,987
合計	506,200,000	181,828,305	324,371,695

※収入決算額と支出決算額の差引額 324,412,078 円は令和5年度に繰り越す。

広島サミット県民会議 令和4年度収支決算の内訳

収入

(単位：円)

科目	項目	令和4年度予算額(1)	令和4年度決算額(2)	差引 (1)-(2)
負担金	県負担金	253,100,000	253,100,000	0
	市負担金	253,100,000	253,100,000	0
諸収入	雑入	0	40,383	▲40,383
合計		506,200,000	506,240,383	▲40,383

支出

(単位：円)

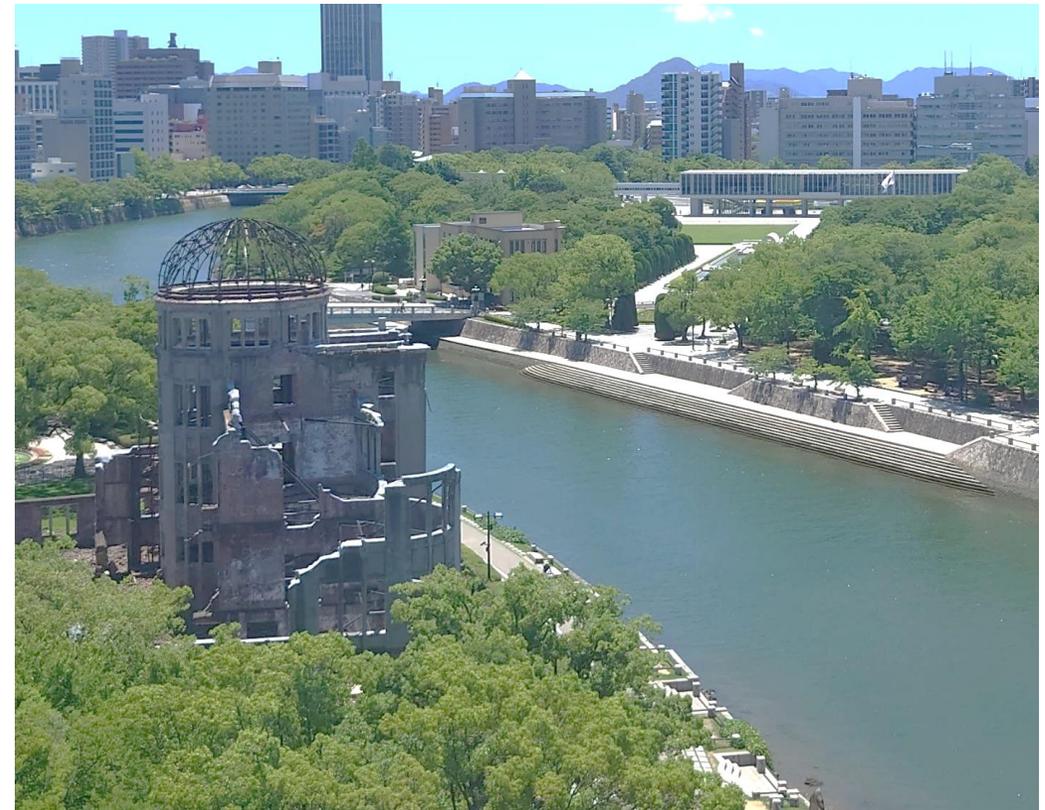
科目	項目	令和4年度予算額(1)	令和4年度決算額(2)	差引 (1)-(2)
事業費	開催支援	70,200,000	6,583,164	63,616,836
	おもてなし	116,900,000	51,365,516	65,534,484
	平和の発信	34,300,000	11,326,757	22,973,243
	広島の魅力の発信	182,400,000	62,234,169	120,165,831
	若者の参画	30,000,000	4,397,686	25,602,314
事務局費	事務局運営費・予備費	72,400,000	45,921,013	26,478,987
合計		506,200,000	181,828,305	324,371,695

G7広島サミットの開催概要等

令和5年7月 広島サミット県民会議



ここから世界へ、ここから未来へ
HIROSHIMA SUMMIT
広島サミット県民会議



1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

(1) G7広島サミットの概要

- ◆ 日程
2023年5月19日(金)～21日(日)
- ◆ 主会場
グランドプリンスホテル広島
- ◆ 国際メディアセンター
広島県立総合体育館



(2) G7広島サミットのメンバー



岸田文雄総理大臣



メローニ伊首相



トルドー加首相



マクロン仏大統領



バイデン米大統領



スナク英首相



シュルツ独首相



ミシェル欧州理事会議長



フォン・デア・ライエン
欧州委員会委員長

G7は議長国順

(写真: 外務省資料より)

(3) 招待国・国際機関

招待国 (8か国)

豪州



ブラジル



コモロ
(アフリカ連合
(AU)議長国)



クック諸島
(太平洋諸島フォー
ラム(PIF)議長国)



インド
(G20議長国)



インドネシア
(ASEAN議長国)



韓国



ベトナム



招待国際機関(7機関)※世界保健機関(WHO)はオンライン参加

国際連合(UN)

国際エネルギー機関
(IEA)

国際通貨基金
(IMF)

経済協力開発機構
(OECD)

世界銀行(WB)

世界保健機関
(WHO)

世界貿易機関
(WTO)

ゲスト国

ウクライナ



1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

首脳プログラム

- ◆ 5月19日（金）
- G7首脳による平和記念資料館視察、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花、植樹
- セッション1「分断と対立ではなく協調の国際社会へ／世界経済」
- セッション2「ウクライナ」
- 厳島神社訪問
- セッション3「外交・安全保障」



セッション1

首脳プログラム



G7首脳による芳名録記帳



厳島神社訪問

首脳プログラム

- ◆ 5月20日（土）
 - セッション4 「パートナーとの関与の強化（グローバル・サウス、G20）」
 - セッション5 「経済的強靱性・経済安全保障」
 - セッション6 「複合的危機への連携した対応」
 - セッション7 「持続可能な世界に向けた共通の努力」
 - 社交行事



セッション6



グランドプリンスホテル広島での集合写真

首脳プログラム

- ◆ 5月21日（日）
 - ・ 招待国首脳及び国際機関の長による平和記念資料館視察、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花
 - ・ セッション8「ウクライナ」
 - ・ セッション9「平和で安定し、繁栄した世界に向けて」
 - ・ 議長国記者会見
 - ・ ウクライナ大統領による平和記念資料館視察、原爆死没者慰霊碑参拝献花、会見



セッション8

首脳プログラム

◆ 成果文書の発出

1 G7広島首脳コミュニケ

2 G7首脳による個別声明

- (1) ウクライナに関するG7首脳声明
- (2) 核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン
- (3) 経済的強靱性及び経済安全保障に関するG7首脳声明
- (4) G7クリーン・エネルギー経済行動計画

◆ 成果文書の発出

核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン

G7で初めて、核軍縮に特化した「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」がG7首脳による合意の下で発表

全ての者にとっての安全が損なわれない形での核兵器のない世界という究極の目標に向けたコミットメントが再確認され、

- 核兵器を減少させる行動を逆行させてはならないこと
- 核兵器のない世界は、核不拡散なくして達成できないこと
- 被爆の実相への理解を深めるために広島・長崎への訪問を促すことなどが明示される

1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

- ◆ 5月19日（金）
- G7首脳配偶者による平和記念資料館視察、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花
- 上田流和風堂訪問（昼食会、香道体験、呈茶）
- 次世代シンポジウム
- 夕食会及びアフターディナー



アフターディナーでの記念撮影

パートナーズ・プログラム

- ◆ 5月20日（土）
- 厳島神社訪問（拝観、舞楽鑑賞）
- 昼食会
- 社交行事



舞楽鑑賞



宮島訪問時の歓迎セレモニー

パートナーズ・プログラム

- ◆ 5月21日（日）
- 招待国首脳配偶者による平和記念資料館視察、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花
- 広島県立美術館・縮景園訪問（蒔絵体験・鯉のえさやり）



蒔絵体験



鯉のえさやり



松井副会長による碑文の説明

1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
- 4. 安全確保に向けた取組について**
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

安全確保に向けた取組について

サミットを円滑に開催するため、主会場のある元宇品地区では、住民や事業者の方々にも識別証による確認を行うなど、入域規制が実施
(5月15日(月)15時~21日(日)17時45分)



警察による規制の様子

安全確保に向けた取組について

各国首脳等が訪問された平和記念公園で、立入制限が実施
宮島でも、住民や事業者の方の入島に対する識別と観光客等の入島制限が実施
(平和記念公園:5月18日(木)18時~21日(日)20時05分)
(宮島:5月18日(木)12時~20日(土)14時)



平和記念公園の囲繞



平和記念公園周辺の警備の様子



入島制限の行われた宮島の商店街

1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

(1) 政府高官歓迎レセプションの開催

広島に滞在する各国等のサミット関係者の方々を歓迎するとともに、広島の魅力を発信するためレセプションを開催

日時:

令和5年5月18日(木)

場所:

広島コンベンションホール

出席者:

161名(各国等参加者37名、国内参加者124名)



県内市町PRブース



神楽実演

(2) 宿泊予約センター・弁当供給センターの設置

県民会議公認の「G7広島サミット宿泊予約センター」を設置し、サミット関係者(各国政府関係者、報道関係者、警備関係者等)の客室を確保

また、「G7広島サミット弁当供給センター」を設置し、県内各地に配置される警備・消防、医療・現地スタッフ等に対し、安全で安心な食事を大量に継続して供給できる体制を確保

宿泊予約センター取扱件数:

約38万1千泊(1日あたりの最大値:約2万6千泊)

弁当供給センター取扱件数:

約40万食(1日あたりの最大値:約3万5千食)



宿泊予約センター

【油淋鶏弁当】



供給弁当の例

(3) 学生ボランティアの活動

広島サミット協力大学協議会等からの推薦に基づき学生ボランティアを決定し、様々な活動に参加

〔学生ボランティア〕

おもてなしボランティア:72人

通訳ボランティア:51人

活動延べ人数:406人



インフォメーションカウンター



レセプションでの活動の様子

(4) 国際メディアセンターにおける広島の情報発信

国が広島県立総合体育館等に設置した国際メディアセンターにおいて、広島の魅力を発信するため、広報展示等を実施

期間:

令和5年5月18日(木)～22日(月)

主なコンテンツ:

- ・展示ブースによるPR
- ・大型モニターを活用した観光PR
- ・体験スペース
- ・広島の食の試食・試飲、実演
- ・県内23市町観光PR回廊
- ・ひろしまゲートパークプラザでのステージPR
- ・平和展示(被爆・復興・未来へ)

など

来場者数:

延べ50,327名(うち外国人4,967名)



書道パフォーマンス



23市町PRブース

(5) サミットを応援する取組・協賛・寄附

G7広島サミット開催に向けて、企業・市民団体等がサミットに絡めて実施するG7広島サミットを応援する取組や、県民会議事業等への協賛や寄附金を募集し、多くの方々に御協力をいただきました。

応援する取組: 2, 045件
協 賛: 69件

寄附金: 41件
1,498万6,000円



応援・協賛の一例

(6) アフターサミット見学会

次世代を担う若者にG7広島サミットの現場を肌で感じていただくこと及びサミット開催に係る県民の皆様のご協力への感謝のため、サミット関係施設の見学会を外務省と共催で実施

対象:

元宇品地区・宮島地区の住民、県内小・中・高等学校生等、県内住民、関係者(IMCのブース出展者、県民会議構成団体等)

開催期間:

令和5年5月24日(水)～5月27日(土)

内容:

- ・サミット講座(10分程度)
- ・広島情報センター、政府広報展示スペース、円卓・サミット関連展示の見学

来場者数:

1,333名



円卓・サミット関連展示



サミット講座

1. G7広島サミットの概要
2. 首脳プログラムについて
3. パートナーズ・プログラムについて
4. 安全確保に向けた取組について
5. 広島サミット県民会議の取組について
6. 広島県産品の活用実績について

広島県産品の活用実績

国主催の行事等や、県民会議関連事業において、下表のとおり広島県産品が活用されています。

引き続き、活用されている産品等の確認作業を進め、ホームページ等で公表します。

【食材等】

区分	首脳会議 パートナーズ・プログラム	国際メディアセンター (ダイニング・ケータリング)	県民会議 関連事業
農産物	49	19	63
畜産物	8	11	16
水産物	20	7	18
加工食品	40	21	73
日本酒	17	1	80
ワイン	9	2	26
その他酒類	7	-	29
ノンアルコール飲料	15	-	25
合計	165	61	330

【工芸品等】

贈呈品	記念品	調度品	展示品	合計
20	8	17	37	82



活用実績の詳細な情報は、本日から県民会議ホームページに掲載しています。

広島県産品の活用実績

岸田総理からG7首脳への贈呈品



伝統漆芸 彩雅 万年筆(セーラー万年筆株式会社)



蒔絵グラス ワイングラスセット又はゴブレットセット
(七代金城一國齋)

岸田裕子内閣総理大臣夫人からG7首脳配偶者への贈呈品



広島漆芸「曙」

県民会議からの贈呈品



陶芸作品(花瓶)(今井政之)

開催都市(広島市)からの贈呈品



広島漆芸の作品(酒器セット)(高山尚也)



5/19首脳ワーキングディナー(岩惣)



5/20社交夕食会の写真

令和5年7月5日
広島サミット県民会議
第5回総会

資料2

交通総量抑制対策の 結果について

広島県警察本部

【交通量の削減結果】

5月18日(木)～21日(日)

広島県内高速道路、広島市中心部一般道路

(1年前の同週同様日と比較)

交通量 **53.8%** 削減

国道54号南行き(広島市中区西白島町)の様子

通常時の午前8時



期間中の午前8時

【渋滞発生と交通規制との関係】

- 5月18日(木)～21日(日)
- **国道2号(住吉町交差点周辺)**
寺町通り・舟入通り(十日市交差点周辺)等
- サミット交通規制の影響と思われる
1km以上の渋滞 15件発生

- 通行止め規制
平和大通り、吉島通り等
要人の通行が集中する時間帯に長時間化
- 渋滞
長時間の通行止め規制時間帯
通行止め路線との交差路線、う回路線で発生
⇒ 通行止め規制の長時間化の影響



【総括】

要人の頻繁な移動により、交通規制が長時間化
一般道路の一部で渋滞が発生

しかし

交通総量が十分に抑制
交通規制の影響を最小限に止める結果

**交通総量抑制に対する
県民・市民・事業者の皆様のご協力
のたまものであり、感謝申し上げます。**

各国要人の移動を警備



サミット会場前面海域のパトロール

河川部の海上警備状況



漁港部の海上警備状況

事前通報の受付



配布した識別旗

サミット期間中における通航隻数(宇品島～金輪島間、漁船を除く)



広島サミット県民会議の今後の取組等

1 今後の主な取組

(1) 記念コーナーの設置

歴史に残る広島サミットについて、市民・県民が広島に誇りを持つとともに、誘客の促進や未来を担う次世代に伝えるため、「G7広島サミット記念コーナー（仮称）」を設置します。

(2) 経済波及効果・パブリシティの効果の算定

広島サミットの効果・影響を定量的に把握するため、経済波及効果及びパブリシティ効果を算定します。

(3) 記録誌の作成

G7広島サミットの記録・記憶を後世に引き継ぐため、記録誌を制作します。

(4) 広島サミット開催後の活動のフォローアップ及び情報発信

広島サミット開催を契機に実施する県、県内23市町、企業等の取組をフォローアップするとともに、その情報を集約・発信します。

2 県民会議の解散について

県民会議は、今後、上記1の取組を実施し、令和5年度の決算額が確定した後、総会の議決（書面審議）を経て解散予定です。

広島サミット県民会議 令和5年度収支状況（見込）について

収支決算見込

収入金額	579,213千円
支出金額	451,082千円
差 引	128,131千円

【収入】

(単位：千円)

科 目	予算額	決算見込額	差引	摘 要
負担金	254,800	254,800	0	県・市負担金
諸収入	334,500	324,413	10,087	前年度繰越金等
合計	589,300	579,213	10,087	

【支出】

(単位：千円)

科 目	予算額	決算見込額	差引	摘 要
事業費	497,668	388,494	109,174	開催支援、 事業推進経費
事務局費	91,632	62,588	29,044	事務局運営経費
合計	589,300	451,082	138,218	

なお、決算見込額は、現時点の見込みであり、今後、変動する。

また、収入額と支出額の差引額については、令和5年度決算確定後、広島サミット県民会議規約第19条の規定に基づき、広島県及び広島市に返還する。

広島サミット県民会議 令和4年度及び令和5年度の2か年度における
総収支状況（見込）について

令和4年度決算 (千円)

収入決算額	支出決算額	差引額
506,240	181,828	324,412

※G7広島サミットの開催準備を切れ目なく着実に進めるため、収入決算額と支出決算額の差引額を全額繰り越した。

令和5年度決算見込 (千円)

収入見込額	支出見込額	差引額
579,213		
(内訳) 254,800 (県市負担金) 324,412 (繰越金) 1 (預金利息)	451,082	128,131

2か年度計 (千円)

総収入見込額	総支出見込額	差引額
761,041	632,910	128,131

県民会議事務局が実施する各事業の概要等について

	ページ
パートナーズ・プログラムの開催支援	1
首脳等の歓迎行事の開催について	3
先遣隊歓迎レセプションの開催について	4
地元産食材、地元産品等の活用推進について	5
国際メディアセンターの設置支援について	6
NGO支援について	7
宿泊予約センターの設置について	8
弁当供給センターの設置について	9
政府関係者、報道関係者の移動支援について	10
インフォメーションカウンターの設置について	11
学生ボランティアの活動について	12
識別証等の発行について(元宇品地区)	13
識別証等の発行について(宮島)	14
政府高官歓迎レセプションの開催について	16
贈呈品について	18
「G7広島サミット開催直前スペシャルスプリング」の実施について	20
おもてなし・歓迎機運の醸成に向けた応援する取組・協賛等について	21
花を活用したおもてなしの実施について	24
クリーンアップ活動について	25
通訳案内士及び交通事業者向け研修について	26
広島サミットカウンタダウンボードの設置等について	27
歓迎バナー等について	28
路面電車・バス・タクシー・旅客船のラッピングについて	29
【Smile for Peace Project】写真の募集について	30
各国首脳等による平和記念公園訪問の実施支援	31
被爆楽器を活用した演奏会の開催	32
海外メディアの招へい	33
国際メディアセンターにおける広島の情報発信について	34
県民会議主催プレスツアー等による魅力発信について	36
外務省主催プレスツアーの実施	38
在外日本大使館における天皇誕生日祝賀レセプション等でのPRについて	39
県民会議ホームページ・SNSの運用について	40
行政広報誌によるPRについて	41
プレス用ガイド情報について	42
飲食店ガイドの制作について	43
G7広島サミットPR動画の制作について	44
ポスター等の掲示物の制作について	45
サミットに合わせて来訪する警察関係者への魅力発信について	47
G7広島サミットジュニア会議の実施	48
サミット関係施設の見学(アフターサミット見学会)	49
広島サミット記念コーナー(仮称)の設置について	50
広島サミット県民会議への寄附について	51
サミット波及効果等の調査について	52
記録誌の制作について	53

令和5年7月5日
開催支援課

パートナーズ・プログラムの開催支援

1 目的

G7サミットで広島を訪れる首脳等の配偶者に対して外務省が主催するパートナーズ・プログラムが、安全・安心かつ円滑に実施されるよう、必要な支援を行う。

2 事業の概要

(1) パートナーズ・プログラムの概要（実績）

①参加者

国名	氏名	プログラム区分			
		ア	イ	ウ	エ
日本	岸田裕子 総理夫人	○	○	○	○
アメリカ合衆国	ジル・バイデン 大統領夫人	○	○	—	—
ドイツ連邦共和国	ブリッタ・エルンスト 首相夫人	○	○	—	○
英国	アクシャタ・マーティ 首相夫人	○	○	—	○
欧州連合	ハイコ・フォン・デア・ライエン 欧州委員会委員長夫人	○	○	—	○
インドネシア共和国	イリアナ・ジョコ・ウィドド 大統領夫人	—	—	○	○
コモロ連合	アザリ・アンバリ 大統領夫人	—	—	○	○
大韓民国	金建希（キム・ゴニ） 大統領夫人	—	—	○	○
ブラジル連邦共和国	ロザンジェラ・ルーラ・ダ・シルヴァ 大統領夫人	—	—	○	○

②プログラム日程

日程		プログラム	場所	プログラム区分
5月19日 (金)	午前	平和記念資料館訪問及び 原爆死没者慰霊碑献花 (G7首脳配偶者)	平和記念資料館・ 平和記念公園	ア
	午後	上田流和風堂訪問 (昼食会、文化行事等)	上田流和風堂	
		次世代シンポジウム 総理夫人主催夕食会 アフターディナー	おりづるタワー	
5月20日 (土)	午前	厳島神社訪問	厳島神社	イ
	昼	総理夫人主催昼食会	宮島ブルワリー	
5月21日 (日)	午前	平和記念資料館訪問及び 原爆死没者慰霊碑献花 (招待国首脳配偶者)	平和記念資料館・ 平和記念公園	ウ
		広島県立美術館・縮景園 訪問	広島県立美術館・ 縮景園	エ

(2) 県民会議としての支援

① プログラムのコンテンツ提案

令和4年8月に県内各市町に、視察・体験・交流等のコンテンツ案を照会し、取りまとめたものを外務省に対して提案した（82件）。

【実際に採用されたコンテンツ】

提案自治体	内 容	場 所
広島市	平和記念資料館訪問	平和記念資料館
	上田流和風堂訪問	上田流和風堂
熊野町	熊野筆 PR	おりづるタワー
廿日市市	厳島神社訪問及び舞楽鑑賞	厳島神社
	昼食会において宮島レ・クロ（料理人 黒越勇氏）の料理が振る舞われた。	宮島ブルワリー
三次市	奥田小由女氏の作品鑑賞	広島県立美術館
広島県	縮景園訪問	縮景園
	もみじまんじゅうの試食	縮景園
	錦鯉の鑑賞	縮景園

② 施設等との調整

パートナーズ・プログラムの実施に当たっては、各施設と、視察の調整や使用に当たっての条件、費用負担などの調整を行った。

③ 若者参画の促進

広島の若者が参画できるよう調整を行い、宮島港での宮島学園の児童・生徒による出迎えや宮島ブルワリーの昼食会における学生ボランティアによるサーブが実現した。



首脳等の歓迎行事の開催について

1 目的

G7サミット開催に伴い、広島を訪れる各国首脳等に、開催地からの歓迎の意を表す。

2 事業の概要

(1) 広島空港における出迎え・見送り

① 出迎え（5月18日（木）～20日（土）：13か国、7機関）

広島空港において、政府が実施する出迎えに積極的に協力した。

地元代表として、広島県副知事、広島市副市長、広島県議会議員、同副議長、広島市議会議員が交代で出迎えを行った。

また、ポストサミットを見据えた若者の参画も考慮し、県内の学生ボランティアと、時間帯によっては、空港地元自治体である三原市の「三原ミスやっさ」が花束を贈呈した。

② 見送り（5月21日（日）～22日（月）：12か国、8機関）

広島空港において、政府が実施する見送りに積極的に協力した。

地元代表として、広島県副知事、広島市副市長、広島県議会議員、広島市議会議員が交代で見送りを行った。

※ 時間変更等に伴い、先方から出迎え、見送り辞退の申し出があった国・機関については、実施しなかった。

(2) 宿泊部屋への差し入れ

G7各国及び招待国の首脳並びに国際機関の長の宿泊部屋に広島県産の飲料及び菓子類にウェルカムメッセージを添えて差し入れた。

なお、商品には、英訳した成分表示を貼付するとともに、首脳のアルコールの摂取及びハラール対応の必要性の有無について外務省に確認し、対応が必要な首脳に対しては該当する品を除いて差し入れた。

差入品（アルコールあり）



（アルコールなし）



先遣隊歓迎レセプションの開催について

1 目的

G7各国及び招待国等（招待国、国際機関）の政府関係者（先遣隊）が広島を現地視察されるのを機に、広島の食材を生かした料理や酒、伝統芸能等の披露等によるおもてなしで歓迎するとともに、広島の魅力を発信し、本国に伝えていただく。

2 事業の概要

(1) 内容

令和5年2月～5月にかけて、各国等先遣隊に対し、グランドプリンスホテル広島にて広島サミット県民会議主催で歓迎レセプションを行った。レセプションでは、広島の魅力を伝える動画放映のほかお好み焼きの実演を行った。また、各国等先遣隊には県民会議から銅蟲のビアカップを贈呈した。

(2) 地元出席者

湯崎会長、松井副会長、池田副会長及びアトラクション関係市町の首長、在広島二国間交流団体の代表者、広島県・市議会議員 ※上記の代理者が対応した実施日もあり。

(3) 各回の実施日及びアトラクション等

実施日	相手先	参加人数 (うち相手側)	アトラクション
2月8日 (水)	在京大使館 (G7各国 及びEU)	23名 (7名)	・被爆バイオリンを使用した 弦楽四重奏(広島交響楽団) ・琴演奏
3月14日 (火)	EU	30名 (12名)	—
4月4日 (火)	カナダ	22名 (7名)	・神楽 (安芸高田市合同神楽団)
4月25日 (火)	フランス イギリス	55名 (25名)	・神楽 (雄鹿原上組神楽団(北広島町))
4月27日 (木)	ドイツ イタリア	55名 (27名)	・神楽 (松原神楽団(安芸太田町))
5月2日 (火)	招待国及び 国際機関	84名 (47名)	・やっさ踊り (三原市)

3 事業の成果

各国先遣隊には、広島の美味しい食材を使った料理や飲料及び伝統芸能の披露は大変好評であり、広島の魅力を発信できた。

また、学生通訳ボランティアに参加してもらうことで、英語を使った会話補助だけでなく、若者のサミット行事への積極的参加という貴重な経験をしてもらうことができた。

地元産食材、地元産品等の活用推進について

1 目的

G7広島サミットで広島県産品を積極的に活用してもらうことで広島県の魅力を世界に発信すること。

2 事業の概要

- ・広島県・広島市を通じて県内市町に照会し、広島県産品推薦リストを取りまとめ、令和4年10月5日(水)に岸田内閣総理大臣及び林外務大臣に湯崎会長、松井副会長、池田副会長から提出し、サミットでの積極的な活用を依頼した。
- ・広島県産品推薦リストは、応援事業等でも広く活用してもらえるよう、県民会議ホームページに掲載した。
- ・県民会議主催行事や関連事業においても広島県産品を積極的に活用した。

3 実績

県民会議が把握可能な範囲では、外務省が実施した首脳会議、パートナーズ・プログラム等において少なくとも165品目、国際メディアセンターダイニング等において少なくとも61品の県産食材が活用されるとともに、県民会議主催行事(先遣隊レセプション、政府高官歓迎レセプション、国際メディアセンター内の広島情報センター)でも県産食材をふんだんに使用した料理を振る舞い、食のおもてなしを行った。

また、贈呈品や首脳会議用の円卓などサミットにおける様々な場面で県産品が活用された。

【食材】

区 分	・首脳会議 ・パートナーズ・ プログラム	・国際メディアセンター (ダイニング・ケータリング)	・広島サミット県民会議の 関連事業
農産物	49	19	63
畜産物	8	11	16
水産物	20	7	18
加工食品	40	21	73
日本酒	17	1	80
ワイン	9	2	26
その他酒類	7		29
ノンアルコール飲料	15		25
合計	165	61	330

【工芸品等】

贈呈品	記念品	調度品	展示品	合計
20	8	17	37	82

※詳細情報は本日から県民会議ホームページ(右記QRコード)に掲載。



令和5年7月5日
開催支援課

国際メディアセンターの設置支援について

1 目的

広島サミットの開催に伴い、広島サミットの取材を行う各国報道機関関係者の拠点となる国際メディアセンター（以下「IMC」という。）設置にあたり、外務省に対して必要な支援を行う。

2 事業の概要

IMC設置に係る各種申請手続きや、広島県立総合体育館の所管課・管理者との調整を行った。

また、囲繞に伴い影響を受ける隣接施設、プレス移送のシャトルバス駐車場として利用された中央公園バス駐車場の関係者と、利用・申請に関する調整を行った。

(1) 設置場所

広島県立総合体育館（広島市中区基町4-1）

(2) 開設時間

令和5年5月18日（木）10時～22日（月）正午（期間中は24時間運営）

(3) 主な施設

IMC内に設置された主な施設は次のとおり。

【施設概要】

施設名	設置場所
共用ワーキングスペース	大アリーナ
国際放送センター	大アリーナ
記者レポートポイント	大アリーナ
ダイニングスペース	1階ホール、フィットネスプラザ、プール
邦人プレス・ワーキングルーム	小アリーナ
邦人プレス・ブリーフィングルーム	小アリーナ
政府広報展示スペース	武道場、弓道場
広島情報センター	スポーツ情報センター、地下1階エントランス

3 利用実績

延べ1万人の各国の記者が利用（外務省発表）。

NGO支援について

1 目的

G7広島サミット開催に合わせ社会課題等についてのシンポジウムやフォーラム、デモ等を行うため広島を訪れるNGO等（エンゲージメント・グループ含む）の活動に対し、サミット主催者である外務省と調整の上、必要に応じ支援を行う。

※参考：過去サミットにおける地元開催支援組織の支援実績

- ・北海道洞爺湖サミット道民会議…宿営地提供の実績あり
- ・伊勢志摩サミット三重県民会議…支援実績なし

2 実績

NGO等の活動に対して、広島サミット期間中、外務省が広島市青少年センター内に活動スペースを設置したが、NGO等及び外務省から県民会議への支援の要請はなかったため、支援実績なし。

宿泊予約センターの設置について

1 目的

G7広島サミット開催時におけるサミット関係者（各国代表団、日本政府関係者、報道関係者、警備関係者等）に対し、宿泊の安定的かつ効率的な確保を図り、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込・配宿・精算や宿泊者・宿泊施設へのサービス提供などを行う。

2 事業の概要

上記目的達成のため、広島サミット県民会議が公認する「G7広島サミット宿泊予約センター」を設置する。

(1) 宿泊予約センター設置運営事業者の公募

県民会議との協定の下、自主的に活動していただく事業者を公募型プロポーザルにより募集・選定した。

令和4年7月28日 公告

8月5日 参加資格確認申請書提出期限

8月12日 企画提案書提出期限

8月16日 事業者候補者の選定

8月25日 協定締結

9月1日 宿泊予約センター開設、業務取扱開始

(2) 宿泊予約センター設置運営事業者の概要

① 事業者名

広島サミット宿泊予約センターコンソーシアム

(株)JTB広島支店、近畿日本ツーリスト(株)広島支店、(株)日本旅行広島支店、東武トップツアーズ(株)広島支店の4社によるコンソーシアム

② センター設置場所

広島市中区紙屋町二丁目2番2号 紙屋町ビル6階

(3) 宿泊予約センターの取扱実績

(単位：泊)

カテゴリー	延べ宿泊数
各国代表団	約 5,700
日本政府関係者	約 4,600
報道関係者	約 2,600
警備関係者等	約 355,900
支援事業者等	約 12,100
計	約 380,900

※ 1日当たりの最大宿泊数は約 25,900 泊。

※ 警備関係者等には、警察関係者、消防関係者、民間警備関係者を含む。

弁当供給センターの設置について

1 目的

G7広島サミット開催に際し、広島市を中心に県内各地に配置される警察関係者、消防・医療・現地スタッフ等に対し、安全で安心な食事を大量に継続して供給できる体制を確保する。

2 事業の概要

上記目的達成のため、広島サミット県民会議が公認する「G7広島サミット弁当供給センター」を設置する。

(1) 業務内容

弁当の受注、精算、弁当の製造・配送及び空容器等の回収の手配

(2) 運営事業者の募集

県民会議との協定の下、弁当供給センター設置運營業務を行う事業者を公募型プロポーザルにより募集・選定した。

(3) 運営事業者の概要

① 事業者名

近畿日本ツーリスト(株)広島支店

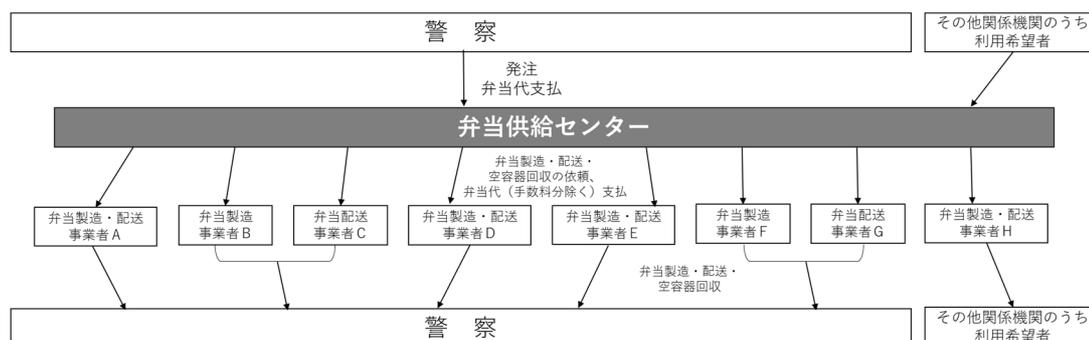
② センター設置場所

広島市中区立町1番24号(近畿日本ツーリスト(株)広島支店内)

(4) 利用者

警察関係者、その他利用を希望する関係者(消防、医療、現地スタッフ等)

【イメージ図】



(5) 弁当供給センターの取扱実績

(単位：食)

カテゴリー	延べ弁当個数
警備関係者等	約 397,200
医療関係者	約 1,600
支援事業者等	約 1,600
計	約 400,400

※ 1日当たりの最大供給数は約 34,500 食。

※ 警備関係者等には、警察関係者、消防関係者、民間警備関係者を含む。

政府関係者、報道関係者の移動支援について

1 目的

G7広島サミットの開催に際し、国内外の政府関係者、報道関係者等（以下「サミット関係者」という。）の移動手段の一つとして、環境負荷に配慮した広島市シェアサイクル「ぴーすくる」（電動アシスト自転車）を提供する。これにより、外務省が実施を計画しているシャトルバスによる移動支援を補完するとともに、サミット関係者の近距離移動の利便性や回遊性を高めることで、広島の魅力に触れていただく機会を創出する。

2 事業の概要

(1) 利用対象者

サミット関係者（国際メディアセンターの利用者）

(2) 実施期間

5月18日（木）～5月22日（月）

(3) 利用台数

実施期間中に 200 台を県外などから臨時調達し、国際メディアセンター近隣の臨時サイクルポートに配置する。

(4) 利用方法

国際メディアセンター近隣に設置する受付窓口で、無料パスを貸し出す。
なお、受付窓口では、学生のおもてなしボランティアがパスの管理や利用案内等の補助業務を担う。

(5) 利用実績

22 件

(6) その他（広報の実施）

4月下旬から約 840 台のぴーすくるのドレスガード（後輪部分のカバー）にステッカーを貼付し、サミット開催に伴う交通総量抑制等と呼び掛ける広報を実施した。



<ぴーすくる>



<ドレスガード広報>

インフォメーションカウンターの設置について

1 目的

G7広島サミットの開催に当たり、サミット関係者（国内外の報道関係者、政府・国際機関関係者、警備関係者、支援事業者等）の利用が見込まれる交通結節点等にインフォメーションカウンターを設置し、学生ボランティア等による交通・観光等の案内及び広島の情報発信等を行う。

2 事業の概要

(1) 利用対象者

サミット関係者（国内外の報道関係者、政府・国際機関関係者、警備関係者、支援事業者等）

(2) 実施期間

令和5年5月16日（火）～22日（月）

(3) 開設場所

広島空港、JR広島駅、国際メディアセンター（県立総合体育館）

(4) 業務内容

会場やホテルへの交通案内、観光案内、広島の情報発信等

(5) 運営体制

学生ボランティア（3～4名程度）ほか

(6) 活動実績

① 活動した学生ボランティア数 延べ100名

② 対応件数 (単位：件)

設置場所	延べ対応件数
①広島空港	435
②JR 広島駅	816
③国際メディアセンター	122
計	1,373



<JR 広島駅設置のインフォメーションカウンター>

学生ボランティアの活動について

1 目的

広島を訪れるサミット関係者やイベント参加者のおもてなし対応やサミットに関わるイベント会場等での通訳などについて、大学生等を対象にボランティアを募集し、若者がサミットに関わる機会を提供する。

2 事業の概要

(1) 対象者

広島サミット県民会議の会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在籍している学生（※高等専門学校の学生については、4年次以上）

(2) 募集方法

① 広島サミット協力大学協議会所属大学等（24校※）

協議会に対して、協議会全体での人数を指定して推薦を依頼

※大学協議会所属大学（21校）に加えて、運営母体が大学と同じ比治山短期大学、広島文化学園短期大学及び安田女子短期大学については、協議会を通じて推薦を依頼

② 短期大学・高等専門学校（3校）

各会員学校に対して、人数を指定して推薦を依頼

⇒推薦のあった学生を登録し、活動の詳細が固まり次第、参加可能な登録者に依頼

(3) 活動内容

① おもてなしボランティア（72人）

活動場所：① イベント会場等

② インフォメーションカウンター及び広島情報センター

活動内容：① イベント対応

② サミット関係者（報道関係者等）に対するおもてなし（観光案内、移動支援、広島県の情報発信など）

活動期間：① 令和5年2月～5月

② 令和5年5月16日（火）～22日（月）

必要スキル：特になし

② 通訳ボランティア（51人）

活動場所：サミット関連のイベント会場等

活動内容：イベント等での通訳、会話補助等

活動期間：令和5年2月～5月

必要スキル：TOEIC785点又は英検準一級相当

(4) 活動実績

（単位：人）

区分		延べ活動人数
①おもてなしボランティア	①	108
	②	155
②通訳ボランティア		143
計		406

識別証等の発行について（元宇品地区）

1 目的

G7広島サミットの開催に際し、主会場のある元宇品地区において警戒警備を目的とした入域規制の実施に伴い、住民及び事業者等に対して外務省から識別証及び車両証（以下「識別証等」という。）が発行されることとなった。県民会議事務局が地元側の窓口として申請手続のサポートや申請情報の取りまとめ、識別証等の交付などの役割を担うことにより、住民・事業者等の負担軽減を図る。

2 事業の概要

(1) 対象者

元宇品地区の住民及び事業者（島外関係者を含む）

(2) 実施期間

令和 5 年 3 月 20 日（月）～5 月 21 日（日）

※識別証等運用（入域規制）期間

令和 5 年 5 月 15 日（月）15 時～21 日（日）17 時 45 分

(3) 実施内容

① 地元説明会の開催

元宇品町の住民・事業者等を対象に、識別証等の申請方法などを説明する説明会を開催した。

- ・ 開催日時：令和 5 年 3 月 27 日（月）15：00～、19：00～（計 2 回開催）
- ・ 参加者数：204 名

② 申請補助会場の設置

地元町内会と連携し、集会所内に申請補助会場を設置した。

- ・ 設置期間：令和 5 年 4 月 3 日（月）～7 日（金）9 時～17 時

③ 申請情報の取りまとめ等

対象者からの申請情報を取りまとめ、外務省の指定する申請システムに登録を行った。

④ 識別証等の交付

発行された識別証等を郵送等により住民・事業者等に交付した。

(4) 識別証等の申請・交付実績

① 識別証 3,347 枚

② 車両証 2,170 枚

※規制期間中に現地で発給された一時通行証を除く。

(5) その他

入域規制の実施に伴い、路線バスが一部区間（広島港～グランドプリンスホテル広島間）で運休となるなどの影響が生じたため、町内会と協議の上、代替の交通手段として無料のシャトルバスを臨時に運行した。

- ・ 運行期間：令和 5 年 5 月 15 日（月）～22 日（月）
- ・ 運行間隔：8 時台～18 時台までの間、1 時間当たり概ね 1～2 本程度運行
- ・ 利用者数：延べ 133 人

識別証等の発行について（宮島）

1 目的

G7 広島サミットの開催に際し、首脳等の訪問先である宮島において警戒警備を目的とした入域規制の実施に伴い、住民及び事業者等に対して外務省から識別証及び車両証（以下「識別証等」という。）が発行されることとなった。県民会議事務局及び廿日市市が地元側の窓口として申請手続のサポートや申請情報の取りまとめ、識別証等の交付などの役割を担うことにより、住民・事業者等の負担軽減を図るとともに、交通事業者等と連携した広報等を行うことにより、観光客が入域規制を知らずに訪問することの未然防止を図る。

2 事業の概要

(1) 対象者

宮島の住民及び事業者（島外関係者を含む）

(2) 実施期間

令和 5 年 3 月 20 日（月）～ 5 月 20 日（土）

※識別証等運用（入域規制）期間

令和 5 年 5 月 18 日（木）12 時～20 日（土）14 時

(3) 実施内容

① 地元説明会の開催

宮島の住民・事業者等を対象に、サミット開催に伴う生活への影響や首脳等の訪問時におけるサミット行事の安全・安心かつ円滑な開催への協力をお願い、識別証等の申請方法などを説明する説明会を開催した。

- ・ 開催日時：令和 5 年 3 月 8 日（水）19 時～
3 月 9 日（木）19 時～
3 月 15 日（水）19 時～

- ・ 参加者数：278 名

② 申請窓口の設置

廿日市市において、etto 宮島交流館に申請窓口を設置した。

- ・ 設置期間：令和 5 年 3 月 30 日（木）～ 4 月 9 日（日）9 時～17 時

③ 申請情報の取りまとめ等

対象者からの申請情報を取りまとめ、外務省の指定する申請システムに登録を行った。

④ 識別証等の交付

発行された識別証等を郵送等により住民・事業者等に交付した。

(4) 識別証等の申請・交付実績

- ① 識別証 3,108 枚

- ② 車両証 231 枚

※規制期間中に現地で発給された一時通行証を除く。

(5) 一般観光客への周知活動

一般観光客が宮島での入域規制の実施を知らずに宮島口まで来ないように、J R 西日本や広島電鉄株の協力により、新幹線等の駅やジャパンレールパス

発券所並びに広島電鉄(株)の主要駅において、サミット開催に伴う広島観光への影響を周知するポスターの掲出やチラシの配布を実施した。

【主なポスター掲出駅】

- ・ 東海道・山陽新幹線：14 駅
- ・ J R 西日本等主要駅：大阪駅、京都駅、広島駅ほか 72 駅
- ・ ジャパンレールパス発券所：成田空港駅、東京駅、羽田空港ターミナル駅、関西空港駅、博多駅など 13 駅

また、サミット開催に伴う広島観光への影響をまとめたホームページ（日、英、仏、独、伊、中(簡)、中(繁)、韓の 8 言語）を作成し、広島観光やサミットに興味がある幅広いターゲット層に対して、リスティング広告によるデジタルマーケティングを実施した。

【実施期間】 令和 5 年 5 月 9 日（火）～21 日（日）

【実績】 ランディングページ表示回数：405, 124 回